

# 市議会

＼ 伊勢崎のさきがわかる /

# いせさき

第3回  
定例会

No.88

2022.7.16

令和4年度伊勢崎市一般会計補正予算など19議案を可決



- |            |              |
|------------|--------------|
| 2 定例会の概要   | 11 議案等の議決結果  |
| 2 主な議案の概要  | 12 表彰受賞      |
| 3 一般質問     | 12 政務活動費収支報告 |
| 10 常任委員会審査 | 12 各種お知らせ    |

新伊勢崎駅

市長から提出された議案 19件

- 専決処分 1件
- 条例関係 4件
- 補正予算 3件
- 人事案件 6件
- その他 5件

6月8日 本会議

- ・会期決定(6月24日までの17日間)
- ・会議録署名議員の指名
- ・全国市議会議長会表彰状伝達式
- ・市長提出議案(令和4年度伊勢崎市一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認について1件)を承認
- ・市長提出議案(伊勢崎市市税条例等の一部を改正する条例案など10件)の提案理由の説明
- ・所管の常任委員会に議案等の審査を付託

6月9日 本会議

- ・一般質問(質問者：議員7人・答弁者：市長、教育長、病院事業管理者及び所管の部長)

6月10日 本会議

- ・一般質問(質問者：議員7人・答弁者：市長、教育長及び所管の部長)

6月14日 総務委員会

- ・議案の審査 4件

6月15日 文教福祉委員会

- ・議案の審査 2件

6月16日 経済市民委員会

- ・議案の審査 1件
- ・請願の審査 1件
- ・所管事務調査

6月17日 建設水道委員会

- ・議案の審査 3件

6月24日 本会議

- ・常任委員会の委員長から審査結果の報告
- ・市長提出議案(令和4年度伊勢崎市一般会計補正予算(第3号)など8件)の提案理由の説明
- ・議案の審議(結果は11ページに記載しています)
- ・公共施設のあり方調査特別委員会・少子高齢対策特別委員会・新型コロナ対応調査特別委員会・地域交通対策調査特別委員会・議会改革推進特別委員会を設置し、委員を選任
- ・特別委員会
- ・委員長及び副委員長の互選

主な議案の概要

令和4年度伊勢崎市一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認について

歳入歳出予算にそれぞれ2億6818万円を追加し、その総額を780億3818万円としたものです。内容は、国の緊急対策として、新型コロナウィルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯に対し、児童1人当たり5万円を給付するため、子育て世帯生活支援特別給付金給付事業を追加したもので、地方自治法第179条第1項の規定により、5月24日付けで専決処分したものです。

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が著しく減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免を引き続き行うことに伴い、改正するものです。

境消防署庁舎建設工事請負契約の締結について

- ・工事場所 境木島地内
- ・請負代金 3億2340万円
- ・受注者 第一工業株式会社

伊勢崎市介護保険条例の一部を改正する条例案

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が著しく減少した被保険者等に係る国民健康保険税の減免を引き続き行うことに伴い、改正するものです。



境消防署庁舎建設予定図

令和4年度伊勢崎市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算にそれぞれ3811万2000円を追加し、その総額を780億7629万2000円とするものです。内容は、第四保育所の耐震補強等改修工事による材料費の高騰等に伴う公立保育施設管理運営事業の増額、戸籍事務とマイナンバー制度との連携を図るためのシステム改修に伴う戸籍住民基本台帳事業の増額及び市ホームページのリニューアル等に伴う広報広聴事業の増額が主なものであり、これらに関連して地方債の補正を行うもの

令和4年度伊勢崎市一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算にそれぞれ1億9829万7000円を追加し、その総額を782億7458万9000円とするものです。

内容は、新型コロナウィルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用するものであり、Made in いせさき製品の新型コロナウィルス感染症対策機器等を購入した、市内の対象事業者に対し、補助金を交付するため、新型コロナ対応経済対策事業を追加し、また、食料費の高騰に対し、保護者の負担を増やすことなく学校給食を円滑に実施するため、学校給食センター事業費特別会計繰出金を増額するものです。

問 今後の花火大会の開催は

答 利根川河川敷での開催も含め検討します

伊勢崎花火大会について

花火大会は夏の風物詩として多くの人に愛されていると考えられるが、本市が令和7年度に市町村合併後20年という節目を迎える状況を踏まえて、今後の伊勢崎花火大会の開催についての考えは。

令和2年度は新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から中止し、昨年度は12月にいせさき冬花火としてオートレース場を打ち上げ場所とした、ユーチューブ配信による無観客の開催をしました。本年度は3年ぶりに有観客で開催できるよう、準備を進めています。開催日はこれまでの9月第3土曜日の開催を繰り上げ、本市の夏の風物詩として市民の皆様楽しんでいただけるよう8月20日を予定しています。今後の在り方は、これまでの経緯や、境地区利根川河川敷での開催も含め、前向きに検討していきます。

ふるさと創生事業について

ふるさと創生資金の活用により設立した団体による活動成果が及び対象について合併後に変化が生じたものがあるか。

市町村合併後に全市的に利用の対象が拡大された事業としては、旧伊勢崎市からの出捐金により財団化された



市民の皆様が楽しめる花火大会を



伊勢崎クラブ 野田 文雄

現在の一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会があります。各地区の体育協会を統合したうえで、各種競技スポーツの大会運営等を支援していることから、現在に至っても引き続き、市民生活に還元されている状況です。

ふるさと創生資金の出資団体による活動の成果が及び範囲や対象が特定の地区に限定されると地域の均衡ある発展の妨げになるのではとの声があるが、市長の認識は。

持続的な発展は、統一したサービスの提供により全的に均衡を図ることと、各地区での創意工夫を生かした特色あるまちづくりを進めることのバランスが大切であると認識しています。

その他の質問

みなみ福祉作業所の廃止について

問 胃がん検診の見直しの考えは

答 国の指針に沿って検討していきます

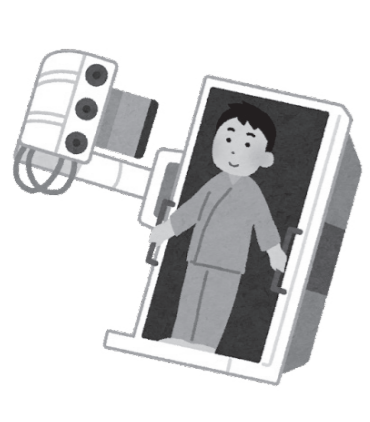
検診の見直しについて

40代になっただけで胃がんリスク検診を受診し、その後はリスクによって胃カメラ・バリウム検診を検討、50歳からは従来の検診とすることが効果的で効果的な検診であると考えますが、本市の胃がん検診の現状は。

40歳以上の市民の皆様は、胃工工ス線検査又は胃内視鏡検査のいずれかを年1回実施しています。

胃がんリスク検診導入の是非等を含め、今後の検診の見直しの考えは。

胃がんリスク検診は、死亡率低下効果を検討した研究はないことなどから、市町村が実施する検診としては実施を推奨しないとの国の見解もあり、本市における胃がんリスク検診の導入については、他市の状況や国の見解を注視しながら研究していきます。検診体制の見直しについては、国の指針で、胃がん検診の対象年齢は50歳以上で、原則2年に1回の実施となっているものの、胃工工工ス線検査は当分の間40歳以上の方に年1回実施しても差し支えないとされています。今後は、本市の対象年齢や受診間隔の課題を中心に、国の指針に沿った検診の実施に向けて、検討していきます。



効率的で効果的な胃がん検診の実施を

その他の質問

真面目な職員が報われる人事評価制度の構築について

人口減少社会への対応について



問 赤堀せせらぎ公園の今後の考えは

答 安全でより良い公園になるよう努めます



伊勢崎クラブ 藤生 浩二

問 公園整備と利用について

答 赤堀せせらぎ公園は多くの方が訪れ、バーベキューやキャンプ、様々な遊具と緑あふれる公園であるが、公園施設の現状は。

また、公園南側の隣地との段差については、転落防止柵の設置を検討し、より良い公園となるように努めます。

問 外国籍児童・生徒への教育支援について

答 外国籍児童生徒学校生活支援助手の配置と効果は。

答 赤堀せせらぎ公園は、粕川沿いにバーベキュー広場やバンガロー等を整備しており、幅広い年齢層に利用される公園です。公園内の炊事棟、研修棟及び管理棟には、令和元年度に実施した公園施設長寿命化計画の調査において、建物全体にわたり、壁や床にひび割れや雨漏りがあることを確認しました。このまま利用し続けると重大な事故につながるおそれがあると判断し、研修棟及び管理棟については、令和2年4月より利用を休止しています。

答 幼稚園、小中学校に配置し、日本語指導が必要な園児、児童・生徒の支援に当たっています。支援助手の教育支援により、子供たちは安心して生活を送り、周囲との良好な人間関係を築くことができていると見えます。今後も、子供たちや保護者の皆様に必要な支援が行き届くように努めます。

その他の質問

問 コロナ禍における公民館活動について



緑豊かな赤堀せせらぎ公園

問 公園内の施設への対応は。また、公園南側の隣地との段差を解消し、安全に利用できる公園にするための対策は。

答 十分な安全上の対策を行った上で、市民の皆様安心して利用していただくために、炊事棟は上屋部分を撤去しました。研修棟は施設の安全性を考慮し、撤去する予定です。管理棟はトイレ施設があることから利用者に不便が生ずることのないよう検討を行った上で、撤去していきたく考えています。

問 公共交通の見直しの考えは

答 利便性向上の施策を調査研究してまいります



伊勢崎クラブ 佐藤 智則

問 公共交通の活用について

答 生活しやすくなるような仕組みづくりが必要と思うが、生活に密着した拠点として鉄道駅やショッピングモール内へのバスターミナル設置の考えは。

答 ショッピングモール周辺にはバス停を設置していますが、ショッピングモール内へのバスターミナル設置については、民間事業者の協力が不可欠なため、調査研究していきます。本市の公共交通の活用への取組としては、高齢者等交通弱者の移動に配慮した路線を維持しながら鉄道や学校への結節性向上を図るため、コミュニティバス

あおぞらの運行ダイヤ等の見直しを昨年のバス路線等の再編に合わせて行いました。今後も、公共交通の活用が進むようバス利用者の利便性向上のための施策として、調査研究していきます。

その他の質問

問 多くの高校生が利用している剛志駅については、南口の設置、駅の活用を促すバス停の設置、周辺整備などが必要だと思いが、考えは。

答 剛志駅舎の建替えに合わせて本市が実施した東武伊勢崎線剛志駅周辺整備事業により、駅北側の東西道路の拡幅と歩道の設置をはじめ、駅前ロータリー、駐輪場、防犯ステーションの整備を行い、駅利用者の利便性及び安全



剛志駅の北口周辺

●洪水災害対策について  
●市営住宅の運営管理について  
●学校給食の栄養と価格について

問 スケートボード場の設備拡充の考えは

答 利用状況等を見据え検討してまいります



有志会 有田 村 幸一

問 スケートボード、インラインスケート及びBMX練習場について

問 東京オリンピックで認知度が向上したスケートボードだが、その先駆的な施設である三室西公園スケートボード場の現状は。

答 直近3年間の利用者数は増加傾向となり、令和3年度は5115人が利用しています。昨年6月に伊勢崎スケートボード協会が設立され、施設利用のルールやマナー遵守など、円滑な施設利用に貢献していただいています。本年10月には、市主催のスケートボード教室を開催する予定です。

問 利便性向上対策の考えは。

答 現状の設備を安心して安全に利用していただけるよう随時点検や修繕等を行っています。夜間照明や屋根の設置、器具の増設などの設備拡充については、利用状況等を見据えながら、必要性を含め検討してまいります。

問 オートレース場関連施設をスケートボード等に活用する考えは。  
答 オートレース場の施設は東京都競馬株式会社所有していることから、小型自動車競走事業を円滑に運営するため、目的外使用することは考えていませんが、開催等に支障がないと認め



休日の三室西公園スケートボード場

るものについては、申請された案件ごとに関係者と協議し検討してまいります。

問 高齢者の健康維持対策について

問 1日でも多く心身ともに健康で過ごせるようにするための対策は。

答 健康寿命の延伸のために、生活習慣病予防には健診の受診勧奨や健康相談等を実施、筋力低下防止には、はつらつウォーキング教室等の開催、低栄養を予防する働きかけを行い、今後も関係機関等と連携し、健康づくりに取り組める環境整備を進めてまいります。

その他の質問

●境北部工業団地周辺地区新規産業団地造成に伴う周辺インフラ整備について

●各産業における後継者及び若年技術者の育成について

問 田島弥平旧宅と渋沢栄一関連の連携は

答 連携イベントの実施を検討してまいります



伊勢崎クラブ 佐藤 智則

問 世界遺産田島弥平旧宅とその周辺施設の活用について

問 柴崎医院跡地は空家の状態で草が生い茂り景観を損なっている。地元は早期の整備を期待しているが、今までの土地取得の経過と今後の利用方法は。

答 平成29年度から土地の取得に向けた検討を続け、昨年度に土地所有者に対し、売渡しの意向を確認し、伊勢崎市田島弥平旧宅活用検討委員会で検討した結果本年度当初予算に土地の取得に係る予算を計上しました。今後は、世界遺産としての歴史的文化的景観の保持や田島弥平旧宅とその周辺の冠水対策を念頭に置き、来訪者のニーズ及び地元の皆様意向を踏まえるとともに、文化庁や伊勢崎市田島弥平旧宅調査整備委員会の有識者の方と相談しながら、整備内容を検討してまいります。

その他の質問

●渡船フェスタについて  
●災害対応について

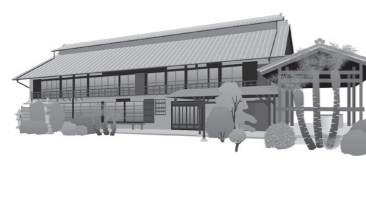
知されるよう、委託先団体と協力してその方策等を検討してまいります。



伊勢崎クラブ 椎名 三生

問 島村の養蚕の歴史を語る上で渋沢栄一は田島弥平と身近な存在であると思うが、文化的観光誘致の観点から渋沢栄一関連のイベント、企画展等との連携についてどう考えているか。

答 本年秋の普及公開事業の際には、渋沢栄一関連の取組を継続していくことを考えています。また、令和6年度には世界遺産登録10周年を迎えますが、同年度に表面の肖像画が渋沢栄一となる新1万円札紙幣の流通が予定されており、相乗効果に期待した連携イベントの実施も検討してまいります。



田島弥平旧宅・周辺の整備と活用を



問 中学校の運動部活動を地域移行する考えは

答 中学生や教員にとって良い改革を検討します



伊勢崎クラブ 飯島 学

問 中学生の部活動について

問 中学校の運動部活動では、競技経験のない教師が指導せざるを得ないことや休日も含めた指導が求められるなど、教師にとって大きな業務負担となっているようである。また、スポーツ庁は教師の負担増を指摘し、令和7年度末をめどとした休日の運動部活動の地域移行の考えを示しているが、本市の考えは。

答 本市でも、教員の長時間労働、指導面での課題が顕著となっております。また、生徒数の減少による複数の中学校での合同チーム編成、生徒のニーズに応じた部活動を設置することができない状況等、生徒が活躍する場の設定が困難な状況もあります。地域移行は、こうした課題を解決する1つの手立てとして考えられ、スポーツ庁から来年度以降、段階的に進めるよう提言されました。本市でも検討委員会を設置する予定で、本年度は、地域移行が可能な競技や活動の在り方、指導者の確保の仕方等の課題を整理し、本市における休日の運動部活動の地域移行について提言を頂く予定です。部活動の地域移行が、本市の中学生にとっての教育的効果を高めるものとなるように、また、教員にとってもより良い改革となるように、検討を進めていきます。

水害に対する防災意識向上に向けた取り組みについて

問 家族構成や生活環境に合わせ、時系列で整理した住民一人一人の避難行動計画となるマイ・タイムライン作成の啓発についての考えは。

答 作成の普及啓発は住民自身やその家族の命を守ることにつながるため、重要な取組であると認識しています。本年度からは各地区や行政区で開催するDIGやHUGなど各種の訓練等と組み合わせて効果的に講習会を実施し、普及啓発に努めていきます。併せて、国や民間企業が展開するスマートフォンを使用した防災関連アプリ等についても周知していきます。

その他の質問

● 地域包括ケアシステムにおける協議体について



中学生が活躍できる部活動を

問 指定避難所での感染症や熱中症の対策は

答 既存設備を有効活用し環境整備に努めます



伊勢崎クラブ 柳 敦志

問 災害時の避難対策について

問 避難対策にはプライベート空間や新型コロナウイルス感染症、障害を持った方への対応等の問題があるため、多くの方が安心して避難できるような避難所の環境整備が必要と考えるが、現在の備蓄品の状況は。また、避難者を熱中症から守る観点から空調等を整備する考えは。

答 避難所でのプライベート空間の確保や新型コロナウイルス感染症対策として、防災倉庫等に段ボール間仕切りを203個、全ての避難所に簡易型テントを施設の規模に応じて8張りから12張り、計1140張り配備しています。なお、段ボール間仕切りなどの段ボール製品の提供については、現在民間企業1社と災害時等における協力協定を締結しており、必要数を確保することが可能であり、併せて自治体間の相互応援協定による広域的な受援体制の活用により、パーティションなどの物資調達も可能であると考えています。また、指定避難所への空調設備の設置については、学校施設においては、体育館だけでなく校舎内の教室等を避難者に開放するなど、施設の既存設備を有効活用することや、指定避難所以外の知人宅等を避難先とする分散避難を呼び掛けるなど、熱中症や感染症対策

策などにも配慮しながら、各施設の環境整備に引き続き努めていきます。

問 避難行動要支援者名簿登録制度の登録者数及び関係機関等との名簿の共有状況は。

答 本制度の登録者数は本年5月10日現在1972人です。この名簿は、各行政区長の皆様のほか、伊勢崎警察署、市消防本部、市消防団及び民生委員児童委員の皆様へ提供し、平時の見守り活動や災害時の救助活動に当たる際に迅速な対応ができるよう活用しています。

その他の質問

● 東武鉄道の利便性向上について  
● 来庁者の目線に立った市役所のレイアウトについて



段ボールパーティションのある避難所

問 不登校の児童・生徒のための支援は

答 フリースクールとの連携を目指していきます



伊勢崎クラブ 定方 宏允

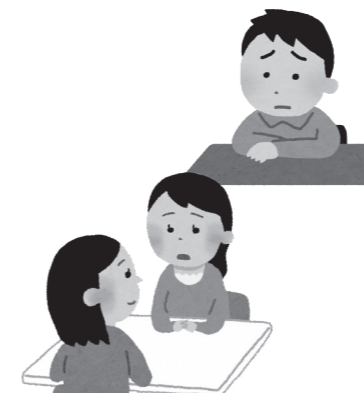
問 フリースクールへの支援について

問 小中学校で不登校や教室で通常の教育を受けることが出来ない児童・生徒が相当数いる状況において、子供の居場所の選択肢が学校外にも広がってきているが、現状の取組は。

答 不登校の子供たち一人一人の社会的自立を支援するために、フリースクールとの連携も必要であると考えており、担当者が市内のフリースクールを訪問し、教育環境や指導内容などの説明を受け、市とフリースクールが共に子供たちの悩みに寄り添いながら社会的自立や安心して過ごすことのできる居場所づくりを目指していることを確認しました。その上で、フリースクールの取組を学校の教職員、児童・生徒、保護者に周知していくために、まず全小中学校、中等教育学校の校長が、フリースクールの職員から事業内容等を説明していただく機会を設定しました。

その他の質問

● 産業支援について  
● 新型コロナウイルス感染症に係る企業支援について



学校生活に悩む児童・生徒と保護者

問 児童・生徒のマスク着用の本市の考え方は

答 各学校へ着脱に関する指導を行います



有志会 小暮笑鯉子

問 学校教育について

問 県の警戒度が1となったことで、本市のマスク着用のルールにどのような変化があったか。

答 相手と身体的距離が取れない場合や会話を行う場合はマスクを着用すること、相手と身体的距離が十分取れる状況では、熱中症のリスク回避を優先しマスクを外すこと、運動部活動では、体育の時間における取扱いに準じ、各競技団体が作成するガイドライン等を踏まえて対応することなどを児童・生徒の発達段階に応じて指導するように、各学校に依頼しました。

問 子供の体調を考慮すると、マスクを外せる雰囲気を作ることも必要と思うが、考えは。

答 基本的な感染症防止対策を行うべき場所ではしっかり行うという方針ですが、マスクを外しても良い場所では外すようにという指導を今後も徹底していきたいと考えます。

その他の質問

● 歴史・文化遺産について

問 臨海学校は小学校生活の思い出となる行事であるが、中止とした理由は。

答 子供たちが食事、入浴、就寝時等、マスクを外して行動する場面で、感染症防止対策の面で十分な安全の確保が困難であり、子供たちの命と安全安心



マスクの着脱を適切に



電子地域通貨の導入についての考えは

電子地域通貨を導入を参考とし調査研究していきます



党首 島 良 明 公 手

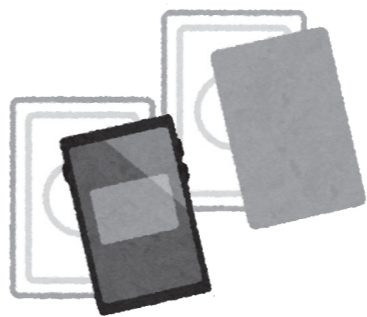
電子地域通貨導入について

電子地域通貨は、非接触型の支払いが進んでいる状況からも今後の地域経済を地域で支えていく効果的な方法と考えられる。また、市民に地域経済を自ら支えていく意識と行動を高める効果も促すことができることから、より多くの市民が利用できるようスマホ用アプリとカードの2種類による電子地域通貨を導入する考えは。

導入の効果として、商品券やチケットの印刷及び管理コストの削減や、本市の事業等に参加又は貢献された方に対し、本市独自のポイントの付与が可能となるほか、市内に限り地域通貨が流通、循環する仕組みの構築などが考えられます。一方で、既に浸透した現状の紙のチケットの継続を望む市民や、オンライン決済に対応する機器調達及び決済手数料を含む維持管理費を負担と考える事業者もいると考えています。今後は、現行のチケット発行事業の仕組みを活かしながら、導入自治体の事例などを参考とし、利用者にとって使いやすい親しみやすい電子地域通貨について、調査研究していきます。

その他の質問

LINEによる通報受付システムの導入について
物価高騰に伴う学校給食に関する負担軽減について



使いやすい電子地域通貨の導入を

高校生世代までの医療費無料化の実施は

他市の状況を調査研究しながら検討します



日本共産党議員団 長谷田 公 子

高校生世代までの医療費無料化について

子育て支援策で医療費を無料にしている県内の自治体が増えている。今年度は入院・通院ともが9市町村、入院のみが8市町村だが、本市が実施する場合のそれぞれの必要額は。

医療費無料化を実施した場合の対象者は約6300人で、入院費及び通院費の医療助成に係る費用額は、既に実施している他市の試算方法を参考に、過去3年間の中学3年生の福祉医療費の助成実績を基に算出すると、約1億6000万円です。また、入院費だけ医療費無料化を実施した場合の費用額は、約1600万円です。

その他の質問

新型コロナウイルス感染症への対応について
公共施設等の在り方について



高校生の医療費無料化を検討

子供たちのための持続可能なまちづくりは

総合的な少子・高齢化対策等に取り組みます



伊 藤 純 子

持続可能な伊勢崎を目指した取組について

出産後の母子の健やかな成長を支援する必要があると思うが、近年、妊娠中の栄養不足により低出生体重児が増加傾向にあると指摘されている。低出生体重児出生の頻度と傾向及び未熟児養育医療給付の推移は。

低出生体重児の出生数と年間の出生数に対する割合は、平成21年が195人で10・2%、平成26年が161人で9・3%、令和元年が125人で8・1%です。未熟児養育医療給付の推移ですが、この制度は医師が必要と認めた未熟児に対して、指定医療機関における入院医療費の自己負担を公費負担する制度であり、申請者数と公費負担額の推移は、平成25年度が72人で、約1509万円、平成30年度が47人で、約1121万円、昨年度が45人で、約1224万円です。

児期の発育が十分でなかった場合に生活習慣病の発症リスクが高まる可能性があるので考慮し、妊娠中の栄養摂取の重要性を伝えていきます。今後、妊娠中からの生活、食事指導等を強化して、次世代の健康な体づくりを見据え継続的な支援を実施していきます。

製造業が盛んな自治体は子育て支援が充実し出生率も高い傾向にあるため、企業誘致と子育て支援を繋げた子供の未来持続可能なまちづくりが必要と思うが、考えは。

企業誘致は本市を元気にし、働く世代、子育て世代及び高齢者世代を支えていくことに繋がっていくと認識しています。そのため、総合的な少子化・高齢化・産業対策に、早急に取り組む必要があると考えています。



母子が健やかに過ごせるまちへ

新型コロナウイルス感染症対応について

在宅療養者への市独自の支援は

必要な時に必要な支援ができるようにします



多 田 稔

新型コロナウイルス感染症対応について

県内20市町村では県との覚書により、在宅療養者に対する自宅訪問や支援助の提供を行っているが、本市ではこれを行っている。在宅療養者支援について考えは。

県は新型コロナウイルス感染症陽性患者に関する個人情報提供及び保護に関する覚書の内容を変更し、市町村が生活相談、独自の支援助の提供、安否確認のための訪問を行える体制をとっています。県と日々の情報連携を行う中で、現状では市独自の支援助の必要性は低いと考えますが、今後県だけで対応に困難が生じた場合は、安否確認や家庭訪問などを迅速に本市が担えるように準備を進めていきます。

市独自の支援助の必要性について、県の情報を受けずにどう判断するのか。

保健所と毎日連絡を取り合い、自宅療養で困っている方がいるかなどの状況を伺っています。感染状況を注視し、県の対応のみでは難しい場合は、市独自の対応がすぐに取れるよう準備したいと考えます。

本市は新型コロナウイルス感染者数が県内で最も多い方だが、市独自の

の実施状況や実績の調査研究を行いながら、今後更に検討していきます。

物価高騰への対応について

学校給食食材費の公費補填の考えは。また、国は安心・安全の学校給食推進の観点から地場・国産食材活用を自治体に依頼しているが、考えは。

学校給食食材費は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用を視野に必要な食材への対応を公費で補えるよう前向きに検討しています。また、地場産野菜については学校給食でこれまでも優先的に活用しており、今後も利用促進に努めていきます。

その他の質問

水道施設について
日本語教育について
豊受公民館と旧豊受幼稚園について



在宅療養者への支援を適切に



### 特別委員会の紹介

特定の案件について、さらに調査するため、以下の5つの特別委員会を新たに設置し、それぞれ委員を選任しました。 令和4年6月24日現在

委員会名	公共施設のあり方調査	少子高齢対策	新型コロナ対応調査	地域交通対策調査	議会改革推進
定数	7人	7人	7人	7人	11人
委員長	馬庭 充裕	山越 清彦	鈴木 良尚	手島 良市	新井 智雄
副委員長	伊藤 純子	小暮 笑鯉子	高橋 宜元	長谷田 公和	北島 元良
委員	内田 彰生 椎名 三幸 田村 幸宏 沼田 文文 長野 泰雄	井島 真美 原島 美 栗田 美	北多 藤宮 藤宮 柳	方藤 永地 山 定 佐須 堀吉	木島 田生 田 幸 良 宏 文 浩 芳 典 志 典

### 議案等の議決結果

#### 市長提出議案

●…賛成全会一致 ○…賛成多数 ×…否決

議案番号	議案名	付託委員会	議決日	結果
42	令和4年度伊勢崎市一般会計補正予算(第1号)の専決処分の承認について	付託なし	6.8	●
43	伊勢崎市市税条例等の一部を改正する条例案	総務	6.24	●
44	伊勢崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	経済市民	6.24	●
45	伊勢崎市介護保険条例の一部を改正する条例案	文教福祉	6.24	●
46	伊勢崎市病院事業の使用料等に関する条例の一部を改正する条例案	文教福祉	6.24	○
47	令和4年度伊勢崎市一般会計補正予算(第2号)	総務	6.24	●
48	境消防署庁舎建設工事請負契約の締結について	総務	6.24	●
49	高規格救急自動車の取得について	総務	6.24	●
50	市道路線の廃止について	建設水道	6.24	●
51	市道路線の認定について	建設水道	6.24	●
52	市道路線の変更について	建設水道	6.24	●
53	令和4年度伊勢崎市一般会計補正予算(第3号)	付託なし	6.24	●
54	令和4年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計補正予算(第1号)	付託なし	6.24	●
55	監査委員選任の同意について 光山 喜一郎(境下測名)	付託なし	6.24	●
56	農業委員会委員任命の同意について 大野 守雄(東町)	付託なし	6.24	●
57	人権擁護委員候補者の推薦について 諏訪 洋子(国定町一丁目)	付託なし	6.24	●
58	人権擁護委員候補者の推薦について 武井 幹夫(葦塚町)	付託なし	6.24	●
59	人権擁護委員候補者の推薦について 荻原 利美(安堀町)	付託なし	6.24	●
60	人権擁護委員候補者の推薦について 古額 道子(長沼町)	付託なし	6.24	●

#### 請願

●…採択 →…継続審査 ×…不採択 —…審査未了

受理番号	件名	付託委員会	結果
1	「子宮頸がんワクチン」接種による健康被害者への支援に関する請願	経済市民	→

#### 陳情

- ・コロナ感染拡大防止策に関する陳情(第2号/経済市民委員会)
- ・国民の祝日「海の日」を7月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情(第3号/総務委員会)
- ・沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情(第4号/総務委員会)
- ・中国共産党による臓器収奪の即時停止ならびに人権状況の改善を求める意見書の提出に関する陳情(第5号/経済市民委員会)

#### 市長からの報告

- ・6月8日 和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について 3件(第10号～第12号)
- ・6月21日 和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について 2件(第13号、第14号)

### 常任委員会審査

本会議で常任委員会に付託された議案などについて慎重に審査を行いました。主な質疑及び結果概要は次のとおりです。

#### 総務委員会

##### 伊勢崎市市税条例等の一部を改正する条例案

**問** 固定資産課税台帳の閲覧等で住所が明らかにされることにより身体に危害を及ぼすおそれがあるものの具体例は。

**答** 配偶者からの暴力、児童虐待、ストーカー被害などです。

##### 令和4年度伊勢崎市一般会計補正予算(第2号)について

**問** ウクライナ避難民支援助成金の事業内容及び積算根拠は。

**答** 財源として、国際交流協会が設置している支援募金を充て、ウクライナからの避難民に対し、1人当たり5万円を支給するもので、1世帯を3人とし、5世帯分を見込んだものです。

**問** 医療的ケア支援事業委託料の積算根拠は。

**答** 市内小学校に入学した児童1名に、訪問看護により定時の導尿服薬を措置するもので、1単位30分で単価4000円、1日3単位として、学校開校日の187日分を乗じたものです。

##### 高規格救急自動車の取得について

**問** 整備される主要な資機材は。

**答** 自動車外式除細動器、搬送車の観察に必要な生体情報モニター、自動心臓マッサージ器及び人工呼吸器等です。



高規格救急自動車

**結果** 付託された4議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

#### 文教福祉委員会

##### 伊勢崎市介護保険条例の一部を改正する条例案

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響で実施した介護保険料の減免実績は。

**答** 令和2年度は68人に対し、505万3100円を、令和3年度は27人に対し、143万8500円をそれぞれ減免しました。

**問** 介護保険料の減免措置に対する国の財政支援は。

**答** 第1号保険料の賦課総額に対する保険料減免見込額の割合に応じて財政支援されるもので、昨年度の減免実績

から、本市には減免総額の10分の4相当額の財政支援がされる見込みです。

##### 伊勢崎市病院事業の使用料等に関する条例の一部を改正する条例案

**問** 改正理由及び金額設定の経緯は。

**答** 令和4年度の診療報酬改定に伴う制度改定の中で保険外分定額負担の徴収業務を負う病院の基準額が見直されたため、初診及び再診に係る保険外併用療養費用は、国により設定された最低金額とし、時間外に係る保険外併用療養費用は、ほかの病院の状況を踏まえ、それぞれ設定したものです。

**問** 時間外診療における保険外併用療養費用の徴収実績及び費用負担増加に伴う市民への周知方法は。

**答** 令和3年度は、総時間外患者数7909人のうち1367人から徴収をし、周知方法は、市民病院のホームページ、院内掲示及び病院や市の広報紙等を活用したいと考えます。

**結果** 付託された2議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

#### 経済市民委員会

##### 伊勢崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例案

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響により実施した減免の実績は。

**答** 令和2年度は、適用を決定した467件に対し、総額5392万8500

#### 建設水道委員会

##### 市道路線の廃止について

**問** 廃止の理由は。

**答** 当該道路にかかる土地を一体利用するに当たり、一般交通用に使用する必要がなくなったことにより、地権者から廃止申請されたためです。



廃止路線位置図

##### 市道路線の変更について

**問** 変更2路線それぞれの変更理由は。

**答** 市道(伊)21147号線は、道路整備工事、市道(東)31135号線は(仮称)あずま南小学校区近隣公園の整備により、区間を変更するものです。

**結果** 付託された3議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

## 表彰受賞

6月8日、本会議開会冒頭の議場において、全国市議会議長会表彰状伝達式を行いました。

市議会議員として、市政の発展に尽くされた功績により、表彰されました。

議員在職35年全国特別表彰受賞者



野田文雄氏

議員在職20年全国特別表彰受賞者



田村幸一氏



田島 勉氏

※田村幸一議員、田島勉議員は在職23年ですが、全国市議会議長会表彰規程により、議員在職20年全国特別表彰を受けております。

議員在職15年全国表彰受賞者



吉山 勇氏

このほか、前議員でありました原田和行様には議員在職40年により、全国市議会議長会会長から特別表彰を受けております。

## 令和3年度 政務活動費収支報告

政務活動費の収支報告をお知らせします。  
 なお、ホームページでは四半期ごとに、支出状況報告書、会計帳簿、領収書、視察等報告書を公開しています。



会派名	会派支出額	政務活動費交付額
伊勢崎クラブ	6,149,854 円	6,149,854 円
公明党	644,432 円	644,432 円
平成クラブ	1,271,233 円	1,260,000 円
有志会	1,306,504 円	1,260,000 円
日本共産党議員団	850,944 円	840,000 円
いせさき未来	344,191 円	344,191 円
正論の会	459,439 円	420,000 円
こども未来	245,680 円	245,680 円
令和の輝き	466,850 円	420,000 円

※令和3年度の収支報告のため現在の会派構成と異なります

## 議会基本条例 逐条解説(前文)

伊勢崎市議会基本条例の詳細や条文については右のQRコードから市のホームページにてご覧ください。



### 【解説】

本条例が伊勢崎市議会の最高法規であることを踏まえ、本市の自然環境、育んできた歴史などに触れながら、伊勢崎市議会としての議会改革に対する思いを「前文」として表現したものです。

第1段落目は、本市の自然豊かな市域と文化的背景を述べています。

第2段落目は、本市の産業の歴史的過程と発展、さらに多様な外国籍住民が暮らしている状況を述べています。

第3段落目は、このように外国籍住民が多いことが本市の特色であることを踏まえつつ、多様な立場の方々全てが健康で文化的な生活を営むことができるよう、伊勢崎市議会が共生社会を推進することにより市の発展を目指していくことを述べています。

第4段落目は、第1～3段落目で述べたような広い視野を持ちながら伊勢崎市議会として目指す姿勢を示し、この条例を制定する決意を述べています。

## 本会議をインターネット配信しています

本市議会は開かれた議会を目指して、本会議のインターネット配信をしています。

パソコン、スマートフォン等により、生中継のほか、録画配信で本会議の様子をご覧ください。ただけです。ぜひご覧ください。



## 次回定例会に係る会議日程(予定)

8/26	金	議会運営委員会
9/1	木	本会議
9/6	火	本会議
9/7	水	本会議(一般質問)
9/8	木	本会議(一般質問)
9/12	月	決算特別委員会
9/13	火	決算特別委員会
9/15	木	本会議
9/16	金	総務委員会
9/20	火	文教福祉委員会
9/21	水	経済市民委員会
9/22	木	建設水道委員会
9/27	火	議会運営委員会
9/30	金	本会議

